

記載例

申 立 書

令和 元年 5月10日

新発田市長 二階堂 馨 様

所有者 住 所 新潟県新潟市〇〇区〇丁目〇番〇号

氏 名 新発田 太郎

電話番号 025-〇〇〇-〇〇〇〇

このたび、私が新築又は取得しました下記家屋は、諸般の事情により現在のところ未入居の状態にありますが、自己の住居の用に供するものに相違ありません。

記

1 家屋の表示

所在地 新発田市中央町1丁目100番地1

家屋番号 100番1

2 家屋の住居表示 新発田市中央町1丁目1番〇〇号

3 入居予定年月日 令和 元年 6月 1日

4 現在居住している家屋の処分方法等

例 ・売却 ・取壊 ・賃貸 ・親族引き続き居住 ・借家解約
・社宅退去 等々具体的に記入

5 入居が登記の後になる理由

例 ・借入金（抵当権設定登記のため）の都合 ・病気療養 ・子どもの学校の都合
等々具体的に記入

なお、証明書交付後、この申立書に虚偽があることが判明した場合には証明を取り消され、税額の追徴を受けても異議ありません。